

中央中学校区

地学協働通信 ウィズ

With

No.1 2026.8.25

地域学校 協働活動とCS

中央中学校区が
市のモデル校区に！

「地域学校協働活動」とは、子どもたちの学びと成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指すために、地域や保護者の皆さん、関係機関、大学生、NPO、企業等の幅広い地域の方々の参画を得て、緩やかなネットワークをつくり、地域と学校がパートナーとして連携・協働していく活動のことです。

江別市では、今後、「えべつ型コミュニティ・スクール（CS）」や小中一貫教育との連携も図りながら、中学校区で地学協働の取組をできることから少しずつ進めていくことになります。

その「江別市地域学校協働活動推進事業」のモデル事業が、今年10月から中央中学校区でスタートします。

それに先だって、6月24日（水）に対雁小・中央小・中央中の3つのCSによる合同学校運営委員会が開催され、モデル事業の説明・協議等が行われました。

EVENTS



前半は全体会で地学協働事業について、後半は学校部会で経営方針等についての熟議を行いました！



中央小子育て協議会

7/22
開催

自治会や学校運営委員、PTA役員、学校職員で情報交換しました！



中央小校区の自治会役員の方々や中央小PTA役員、学校運営委員の皆様、先生方が一堂に会し、「中央小子育て協議会」が開催されました。中央小は校区内にたくさんの自治会（11自治会）があることから、開校当初から学校と地域の連携を図るためにこの協議会が行われてきました。

当日は、学校側から学校経営グランドデザインについて、学力向上の取組について、生徒指導について、開校50周年記念式典について等の説明がありました。

また、地域自治会からは、子どもたちの地域での様子についての情報提供があり、学校と地域の情報交換や関係機関との連携の重要性等について、出席者全体で共有されました。貴重な意見交流が行われ、有意義な会となりました。

「With」とは？

中央中校区（対雁小・中央小・中央中）の学校と地域の連携・協働の取組等についてお知らせするお便りです。学校と地域、関係機関が一緒になって子どもたちの学びや成長を支えていくという「地学協働」の願いを込めて「With（一緒に）」と名付けました。